

中1プロブレムに関する調査研究 - 児童生徒の学級適応感の比較から -

曾山 和彦
(名城大学)

【目的】

本研究では、小学校6年生(以下、小6)及び中学校1年生(以下、中1)を対象に学級適応感を比較し、中1プロブレムの現状について調査・考察することを目的とした。併せて、中1プロブレム予防・解決のための指導上の留意点について検討した。

【方法】

調査時期：2007年9月

対象：東北、東海、中国、四国地方6県から小学校27校の6年生1248名(男子599名、女子649名)、中学校16校の1年生1113名(男子567名、女子546名)、計2361名(男子1166名、女子1195名)。

測定尺度：三島(2006)による「階層型学級適応感尺度(小学校高学年用)」15項目を使用し、回答は5件法で求めた。なお、中1に対しては、質問項目の「算数」を「数学」に変更して使用した。

手続き：上記尺度による質問紙を対象校に郵送法にて配布・回収した。全ての対象校から回答があり、質問への記入漏れ等があった不備のデータを除いたものを分析対象とした。

【結果と考察】

1. 小6と中1の学級適応感全体比較 (Table 1)

中1は小6に比べ、「総合的適応感覚」、「友人関係」、「学習態度」の3つの下位尺度得点が低く(1%有意)、「心身不健康」の下位尺度得点が高いことが認められた(1%有意)。このことから、中1は小6に比べ学級適応感が低いことが明らかになり、文部科学省(2007)による学校基本調査の結果及び報道等によって指摘される中1プロブレムの現状を再認できたと考えられる。

Table 1 小6・中1全体の学級適応感尺度の平均点比較

	小6 N = 1248	中1 N = 1113	t値
総合的適応感覚	9.84(2.32)	9.41(2.37)	4.45**
友人関係	18.62(3.34)	18.25(3.41)	2.64**
学習態度	13.85(2.64)	12.81(2.91)	9.10**
心身不健康	7.96(2.60)	8.34(2.62)	-3.48**

()内は標準偏差 † $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$

2. 小6と中1の学級適応感男女別比較 (Table 2.3)

中1は小6に比べ、男子は、「総合的適応感覚」、「友人関係」、「学習態度」の3つの下位尺度得点が低く(1%有意)、「心身不健康」の下位尺度得点

高いことが認められた(10%有意傾向)。女子は、「総合的適応感覚」、「学習態度」の2つの下位尺度得点が低く(1%有意)、「心身不健康」の下位尺度得点が高いことが認められた(1%有意)。しかし、「友人関係」については小中学校間差が認められなかった。この男女の「友人関係」の結果の違いは、思春期段階における両者の友人関係の発達の違いによるのではないかと推測される。男子は、児童期半ばからのギャング・グループにおける徒党意識が薄れ、新たな関係づくりを模索する時期にあるが故に、中1は小6に比べ、「友人関係」の数値が低下したのではないかと考えられる。一方、女子は、思春期において女子に特徴的とされるチャム・グループを構築する。互いの類似性を言葉で確かめ合うことを基本とするチャム・グループが、小6、中1でともに構築されていることにより、「友人関係」の数値が維持されているのではないかと考えられる。

Table 2 小6・中1男子の学級適応感尺度の平均点比較

	小6 N = 599	中1 N = 567	t値
総合的適応感覚	9.63(2.32)	9.22(2.34)	3.02**
友人関係	17.98(3.34)	17.39(3.41)	2.95**
学習態度	13.74(2.84)	12.90(3.09)	4.84**
心身不健康	7.62(2.58)	7.88(2.55)	-1.73 †

()内は標準偏差 † $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$

Table 3 小6・中1女子の学級適応感尺度の平均点比較

	小6 N = 649	中1 N = 546	t値
総合的適応感覚	10.03(2.31)	9.61(2.38)	3.13**
友人関係	19.21(3.20)	19.14(3.18)	.36n.s.
学習態度	13.96(2.44)	12.71(2.72)	8.27**
心身不健康	8.28(2.57)	8.81(2.61)	-3.53**

()内は標準偏差 † $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$

本研究の結果から、中1プロブレム予防・解決のための指導を行う際には、友人関係の発達段階における性差について留意する必要があることが示唆されたと考えられる。

【参考・引用文献】

三島浩路 2006 階層型学級適応感尺度の作成 - 小学校高学年用 カウンセリング研究, 39, 81-90.
文部科学省 2007 平成18年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」について